

機能性ウレタン分散体

放熱性ウレタン分散体（放熱ギャップフィラー・グリース）

特長

- ・ウレタンの柔軟性が凹凸への追従性を実現
- ・アウトガスが発生しないTIM材としてサーマルマネジメントが可能
- ・フィラー改質技術による、長期安定性の実現
- ・室温硬化あるいは非硬化タイプの選択が可能

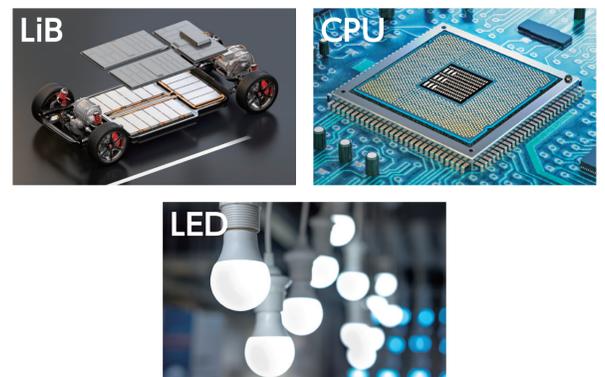
スペック一例（2液タイプ）

熱伝導率 (W/m・k)	3.2
粘度 (Pa・s)	A液 / B液 300/350
硬度 (ShoreC)	40
室温硬化時間 (h)	>24
せん断強度 (Mpa・s)	0.2 < ※銅 / アルミ
低分子シロキサン	非含有

沈降評価（室温 / 1ヶ月後）



適用例



導電性ウレタン分散体

特長

- ・ウレタンの伸縮性を生かし、延伸後も抵抗値の変化を抑制
- ・耐薬品性を持ち、薬品の影響による抵抗値の変化を抑制
- ・金属フィラーを使用せず低コストを実現
- ・コーティング剤あるいはコンパウンドの選択が可能

スペック一例（耐久設定タイプ）

	標準品	耐久設定
最大伸び率 (%)	5	20 ~ 30
表面抵抗値 (Ω/□)	16	16
表面抵抗値 / オレイン酸 (Ω/□)	800	80
表面抵抗値 / 10%引張 (Ω/□)	-	30

適用例



光透過性ウレタン分散体

特長

- ・フィルム化した際の黒色隠蔽性と光透過性を両立
- ・カーボンブラックではできないニュートラルな透過光を実現

透過光の違い

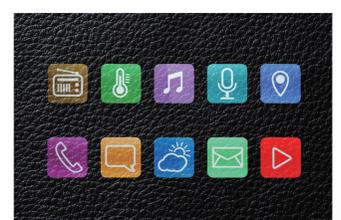


カーボンブラック

非カーボンブラック

適用例

- ・合成皮革
- ・加飾フィルム



※本資料の物性データは特定条件下における当社評価方法結果であり、保証値ではありません。